

若手句会実況中継 令和元年7月12日 (金)

指導者：片山由美子氏・佐怒賀直美氏

出席者数 21名

高得点句

1位 船降りて歩幅広ごる南風かな

曲 風彦 6点

(受講者5点、佐怒賀選)

講評…船を下りたときの気持ち良さが歩幅を広くする具体的な行為で中七に表されていて良い。(受講者) 中七「歩幅広ごる」が具体的な行動が入って上手い。故郷に帰ってきたような喜びを感じる。「かな」止めが少し気になる。(佐怒賀)「広ごる」という雅語的表現が、この内容には似合わないのではないかな。船からさっそうと降りてくるのだから、口語的な方がいいように思われる。また同じように「かな」止めも気になるので、「船降りて歩幅大きく南風」と直したい。(片山)

2位 夕風や着岸のとき息止めて

曲 風彦 5点

(受講者4点、片山選)

講評…「着岸のとき息止めて」に実感がある。(受講者)「夕風」は蒸し暑さをむしろ感じるので、着岸の時の緊張感と心配に上手に付いて出来ているのではないかと思う。(片山)夕風は風が止まることで、下五の「息止めて」の「止まる」が重なってしまうのが少し気になったが、良い句だと思う。(佐怒賀)

2位 嘶きに暮れゆく谷や合歓の花

大西 朋 5点

(受講者3点、片山選、佐怒賀選)

講評…「嘶き」という聴覚と「合歓の花」の視覚が時間の流れの中に形良く表現されている。(受講者)どこか有名な牧場の感じ。合歓の花が夕方の感じを良く出して、夕日の中に薄く浮かんでいる花が見え綺麗。(片山)景色が綺麗に見えて、大きな風景が見えてくる。作者にとって思い入れのある場所かもしれない。ただ句に若さが無いのが気になる。(佐怒賀)

2位 傘を閉ぢ茅の輪をくぐり傘開く

平野山斗士 5点

(受講者5点)

講評…茅の輪くぐりの頃の雨の多い季節の感じがよく出ている。

傘に注目して作ったことが面白い。(受講者)「傘開く」というだけで、それ以前は閉じていたことが分かるので、「茅の輪抜けふたたび傘を開きけり」と直したい。(片山)茅の輪を8の字に回る繰り返しが見えて意外に面白いと思った。(佐怒賀)

2位 琉金の腹で方向転換す

吉田林檎 5点

(受講者4点、佐怒賀選)

講評…「腹で方向転換す」と「腹」に注目したところがいい。力強さがある。(受講者)琉金よりも蘭鑄かなとも思うが、「腹」に注目した点が面白く、ゆったりとした感じが出た。(佐怒賀)琉金だと目ばかりが目立ちそうだが、それが面白いのでしょうね。「方向転換す」が表現としては硬いかな。(片山)

◎佐怒賀直美特選句

封筒の切手の鳥よ夏の雲

倉持梨恵

嘶きに暮れゆく谷や合歡の花

大西 朋

◎片山由美子特選句

足元の風からうじて冷房車

吉田林檎

手のひらに掬ふ螢を夜風ごと

上野犀行